

平成24年度公共事業事後評価調書

1. 事業説明シート(1)

(区分) **国補**・県単

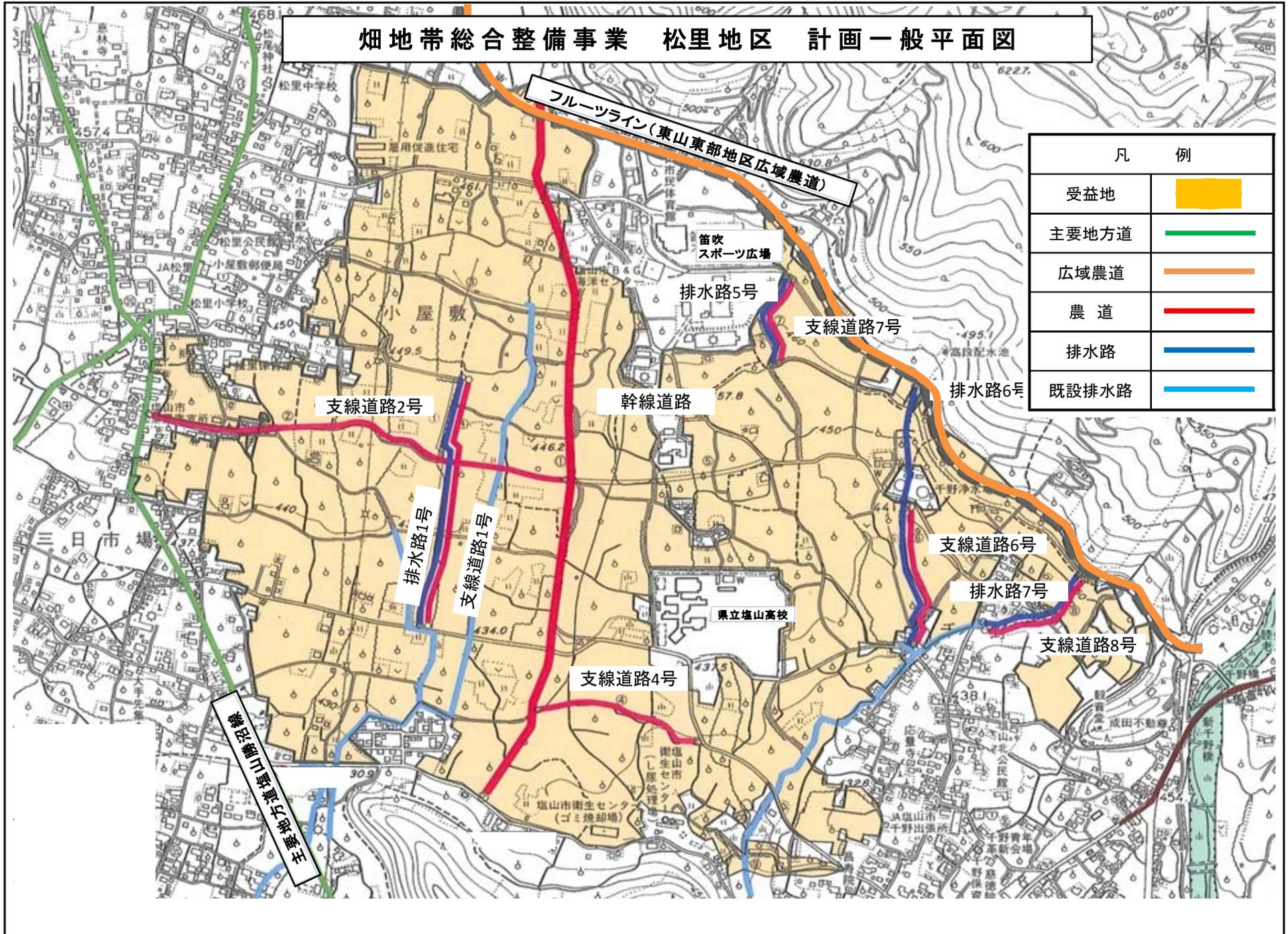
事業名	畑地帯総合整備事業(国補)		事業箇所	甲州市塩山三日市場、小屋敷、千野		地区名	松里	事業主体	山梨県
(1)事業着手年度	H9年度	(2)事業期間	H9年度～H19年度		(3)完了後経過年数	5年	(4)総事業費	1,397百万円	
(5)事業着手時点の課題・背景						(8)事業位置図等			
<p>本地区は旧塩山市西部に位置し、北の扇山、南の塩山に挟まれた丘陵地である。耕地は約120haで、主にぶどう、もも、かき等を栽培する一大果樹地帯となっている。しかしながら、樹園地内の基盤整備状況は、農道は狭く、集出荷・輸送に支障をきたし、また、排水路も未整備区間が多いことから、湿害や水食被害を受ける農地も少なくない。</p> <p>このため、農業生産基盤の整備を行い、農業生産性の向上と営農環境の改善を図るため本事業を実施した。</p>						省略			
(6)事業着手時点で想定した整備目標・効果									
(事前評価未実施)									
<input type="checkbox"/> 主要目標 ・農業生産力の向上									
<input type="checkbox"/> 副次目標 ・集落間・小規模拠点施設へのアクセス向上 ・農業用排水能力の向上									
<input type="checkbox"/> 副次効果 ・農地の保全									
(7)整備内容(目標達成の方法)									
農道(7路線) L=4,258m (支線道路W=3.0m L=1,000m、W=4.0m L=1,757m) (幹線道路W=7.0+3.0m L=1,501m)									
排水路(4路線) L=1,707m									

2. 評価シート（1）

<p>(1)事業貢献度 < (良) ・ 不良 ></p> <p>(理由) 農道、用排水路が整備されたことにより、農作物の品質向上や運搬時間が短縮されるとともに施設管理が容易となったため、農業経営の改善が図られた。</p> <p>① 主要目標 農業生産力の向上</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>着手時点数値等</th> <th>評価時点数値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>農業所得の増加額</td> <td>351千円/ha→設定せず</td> <td>508千円/ha</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table> <p><input type="checkbox"/> 評価時点の数値に対する評価 ・ 農業所得の増加額が、評価基準値351千円/haを上回っている。</p> <p>② 副次目標 集落間・小規模拠点施設へのアクセス向上 農業用排水能力の向上</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>着手時点数値等</th> <th>評価時点数値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全幅員4.0m以上道路延長率</td> <td>59.1%以下→設定せず</td> <td>62.5%</td> </tr> <tr> <td>用排水能力向上率</td> <td>設定せず</td> <td>1.97</td> </tr> </tbody> </table> <p><input type="checkbox"/> 評価時点の数値に対する評価 ・ 幅員4m以上の道路延長率が0%(0km/4.15km)であったが、事業の完成によりL=3.26kmが幅員4m以上に改良され、幅員4m以上の道路延長率が62.5%(3.26km/5.21km)まで改善された。 ・ 排水路の整備により、排水能力向上率が1.97となり、基準値1.0以上を満たしている。</p> <p>③ 副次目標 農地の保全</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>果樹園景観の保全</td> <td>果樹栽培が維持されることにより、良好な果樹園景観が維持されている。</td> </tr> <tr> <td>農地の保全</td> <td>排水機能が改善されたことにより、水路の溢水による表土の流出が無くなり農地が保全されている。</td> </tr> </tbody> </table> <p>④ その他の事業効果の発現状況 ・ 幹線道路については、塩山高校の通学路としても利用されており、通学時の自転車、歩行者の安全性が確保されている。</p>	指標	着手時点数値等	評価時点数値	農業所得の増加額	351千円/ha→設定せず	508千円/ha				指標	着手時点数値等	評価時点数値	全幅員4.0m以上道路延長率	59.1%以下→設定せず	62.5%	用排水能力向上率	設定せず	1.97	項目	内容	果樹園景観の保全	果樹栽培が維持されることにより、良好な果樹園景観が維持されている。	農地の保全	排水機能が改善されたことにより、水路の溢水による表土の流出が無くなり農地が保全されている。	<p>(2)費用対効果分析の算定基礎となった要因等の変化 < (有) ・ 無 ></p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>着手時点の計画</th> <th>事後評価時点の実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総事業費</td> <td>1,878百万円</td> <td>1,397百万円</td> </tr> <tr> <td>工期</td> <td>H9~H13</td> <td>H9~H19</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">経済効率性</td> <td>費用</td> <td>1,878百万円</td> </tr> <tr> <td>便益</td> <td>2,094百万円</td> </tr> <tr> <td>B/C</td> <td>1.12</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td>1.14</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 平成16年度再評価地区 総事業費1,575百万円、工期H9~H18に見直し</p> <p>(要因変化の分析) ・ 総事業費： 農道の代替となる市道整備の実施や用地取得の難航などの理由により、一部路線の見直しを行った結果、事業費が481百万円の減となった。 ・ 工期： 市の財政状況が厳しくなり、各年度予算を縮小したため、及び用地取得の遅延などによる6年間の工期延長。</p> <p>(3)事業実施による環境の変化 < (有) ・ 無 ></p> <p>① 自然環境への影響 ・ 営農条件が改善されたことで、耕作放棄地の発生が未然に防止されたことから、果樹園のおりなす良好な景観が保全されている。</p> <p>② 生活・居住環境等への影響 ・ 幹線道路整備により、甲州市塩山地区のスポーツ振興の拠点である、塩山総合グラウンド、塩山体育館、市民プールへのアクセスが容易になった。</p> <p>③ 環境保全対策の効果の発現状況（措置を講じた場合） ・ 特になし</p>	項目	着手時点の計画	事後評価時点の実績	総事業費	1,878百万円	1,397百万円	工期	H9~H13	H9~H19	経済効率性	費用	1,878百万円	便益	2,094百万円	B/C	1.12			1.14
指標	着手時点数値等	評価時点数値																																										
農業所得の増加額	351千円/ha→設定せず	508千円/ha																																										
指標	着手時点数値等	評価時点数値																																										
全幅員4.0m以上道路延長率	59.1%以下→設定せず	62.5%																																										
用排水能力向上率	設定せず	1.97																																										
項目	内容																																											
果樹園景観の保全	果樹栽培が維持されることにより、良好な果樹園景観が維持されている。																																											
農地の保全	排水機能が改善されたことにより、水路の溢水による表土の流出が無くなり農地が保全されている。																																											
項目	着手時点の計画	事後評価時点の実績																																										
総事業費	1,878百万円	1,397百万円																																										
工期	H9~H13	H9~H19																																										
経済効率性	費用	1,878百万円																																										
	便益	2,094百万円																																										
	B/C	1.12																																										
		1.14																																										

<p>(4) 社会経済情勢の変化が事業に及ぼした影響 〈 有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無 〉</p>	<p>(7) 同種事業の計画・調査のあり方の見直しの必要性 〈 <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 〉</p>
<p>① 社会経済状況の変化 ・なし</p> <p>② 関連計画・関連事業の状況の変化 ・なし</p> <p>③ 事業環境等の変化 ・なし</p>	<p>(理由) ・他事業との調整など、路線の見直しを行ったことにより、一部事業費の減となった。 ・用地確保に想定外の時間を要し、工期が6年延伸され平成19年度の完了となった。</p> <p>(具体的反映策) ・今後事業の執行にあたっては計画的な予算配分を行うとともに、用地補償交渉を一層綿密に行い時間管理の徹底を図っていく。</p> <p>・事業の計画や調査にあたって、ワークショップ手法などにより、地域の合意形成を図っていく。</p>
<p>(5) 今後の事後評価の必要性 〈 有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無 〉</p>	<p>(理由) ・今回の事後評価において、農業所得の増加額などが基準値を上回り十分な効果が発現されているため、今後の事後評価は必要ないと思われる。</p> <p>□「有」の場合の実施時期及び方法 ・時期： 年度 ・方法：</p>
<p>(理由) ・なし</p> <p>(具体的改善策) ・なし</p> <p>(既に実施した改善策の内容と効果) ・なし</p>	<p>(8) 事業評価手法の見直しの必要性 〈 有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無 〉</p> <p>(理由) ・なし</p> <p>(具体的反映策) ・なし</p>
<p>(6) 本事業における改善措置の必要性 〈 有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無 〉</p>	<p>(9) その他特筆すべき事項 〈 有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無 〉</p>
<p>(理由) ・なし</p> <p>(具体的改善策) ・なし</p> <p>(既に実施した改善策の内容と効果) ・なし</p>	<p>・なし</p>

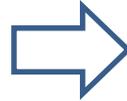
3. 添付資料シート(1)





着手前
地区内の南北に走る道路は、狭小で通行に苦慮していた。

①農道(幹線道路)



完成後
フルーツライン(広域農道)、県道とのアクセスが改善された。



着工前
農道の幅員が狭く、通作などに支障を来たしていた。

②農道(支線道路)

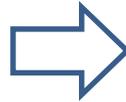


完成後
農道が整備され、軽トラ同士のすれ違いが容易にできるようになり、通作条件の改善が図られた。



着工前
通水断面が狭く、未改修の土水路であるため、少量の雨量でも溢水し、畑の表土を押し流すことが、度々あった。

③排水路



完成後
コンクリート水路整備により流下能力が高まり、畑が水食されることが無くなった。また、併設する農道も拡幅改良したため、維持管理面でも機能向上した。



農作物の輸送等、農業以外の利用状況としては、主に、県道と広域農道を結ぶ道路として広く一般車両に利用されている。また、塩山高校の通学路、塩山総合グラウンド、体育館等のスポーツ施設へのアクセス道路としても活用されている。

④幹線道路の利用状況



歩道の利用状況
塩山高校への徒歩、自転車通学、地域住民の徒歩による利用も見受けられる。